

令和6年度独立行政法人国立文化財機構 技術職員（写真技師）採用選考案内

独立行政法人国立文化財機構
令和7年2月27日

1. 職種及び採用予定人員

職種・ 採用予定人数	勤務場所・職務内容
技術職員 （写真技師） ・・・1名	勤務場所：（雇入れ直後）東京国立博物館（東京都台東区上野公園13-9） （変更の範囲）独立行政法人国立文化財機構の所管する施設 職務内容：（雇入れ直後）文化財に関する写真資料の作成（撮影及び画像処理含む）、収集及び調査・研究等を担当します。また、必要に応じて他の業務に携わることがあります。 （変更の範囲）同上

2. 採用予定日 令和7年6月1日（5月1日付前倒し採用の可能性あり）

3. 勤務条件及び給与

（1）勤務条件

- ①契約期間 期間の定めなし。定年は満65歳。（現在移行 期間のため、定年は、7～8年度は満62歳、9～10年は満63歳、11～12年度は満64歳。また、退職の日は定年に達した日以後の最初の3月31日となります。）
- ②試用期間 採用日から6か月間（ただし、機構が特に認めたときは、試用期間の延長又は短縮する場合もあります。）
- ③勤務時間 東京国立博物館 始業 9:00～終業 17:45（1日7時間45分）
- ④休憩時間 60分（12:00～13:00）
- ⑤休日 土曜日・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
- ⑥休暇等 年次有給休暇有、その他休暇（夏季休暇・忌引等）
* 超過勤務、休日勤務等の可能性もあります。

（2）給与等

- ①基本給 一般職基本給表により決定します。（※②を含まない額です。）
- ②諸手当 扶養手当、管理職手当、地域手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当、超過勤務手当等
- ③保険等 雇用保険、労災保険、厚生年金保険、国家公務員共済組合に加入

採用時の基本給は経験、実績等を考慮し、独立行政法人国立文化財機構給与規程等の定めにより決定します。

（基本給目安） 30歳前後・就業年数を考慮 基本給250,000円程度（令和7年4月時点）
40歳前後・就業年数を考慮 基本給320,000円程度（令和7年4月時点）

- * 上記金額に、別途超過勤務手当（残業代）および賞与、その他諸手当が加算されます。
- * 詳細は「独立行政法人国立文化財機構就業規則」等によります。独立行政法人国立文化財機構 WEB の規則ページを参照願います。

（独立行政法人国立文化財機構 WEB アドレス：<https://www.nich.go.jp/>）

（3）受動喫煙防止措置の状況 敷地内原則禁煙（喫煙専用室あり）

4. 応募資格

職種	応募資格
技術職員 (写真技師)	① 写真に関する課程を卒業（修了）した者、又はこれと同等以上の技術を有する者。 ② 文化財写真撮影に関する高度な技術、写真資料に係る調査研究並びに取扱いに関する能力を有する者。 ③ 業務に対して誠意と熱意を持って取り組める者。

5. 選考方法

(1) 第1次選考 小論文、作品（写真の現物）等により書類選考を行います。

(2) 第2次選考 第1次選考合格者に対して、以下の試験を実施します。

①実技試験 (デジタルバック ビューカメラを使用した文化財等撮影)

②面接試験

*第2次選考の日時及び場所につきましては令和7年4月9日（金）、東京国立博物館において実施予定としております。詳細については、第1次選考合格通知時に別途連絡します。

6. 提出書類

以下の書類をご提出下さい。なお、書類(③, ④, ⑤を除く。)は A4 片面印刷, クリップ止めにて提出して下さい。(冊子, ホチキス止め不可。)

	書類	提出時の注意事項
①	履歴書	様式1を用いること。写真貼付。A4片面。PC入力可。
②	活動経歴書	様式任意 パソコン入力可。
③	卒業証明書又は 卒業証書の写し 修了証明書又は 修了証書の写し	大学学部以上の全てを提出。 在学中の場合は、卒業(修了)見込証明書を提出すること。 退学予定者は、在学証明書と退学予定証明書を提出すること。 外国語で記載されている場合は日本語訳を添付すること。
④	成績証明書	大学学部以上の全てを提出すること。 外国語で記載されている場合は日本語訳を添付すること。
⑤	学位証明書	博士の学位を取得している場合は提出すること。
⑥	作品(写真の現物)	本人が撮影した写真作品の現物を提出(5点以内)。 撮影対象は室内・静物に限る。*提出作品には文化財写真を含むこと。
⑦	小論文	「文化財写真の保存と公開」について、自身の考えを1,500字以内で記述したものを提出すること。(A4片面印刷であれば様式は任意。)

***ご提出いただきました書類は返却いたしません。**個人情報、当公募の管理・審査以外の目的に使用いたしません。当法人の保有個人情報等管理規程に基づき厳正に管理いたします。

7. 採用予定者の決定及び発表

第1次選考及び第2次選考の結果を総合的に判断し、採用予定者を決定します。

選考結果は、第1次選考については令和7年3月26日（水）までに合格者にのみ通知します。

第2次選考については令和7年4月末までに第2次選考受験者全員に通知します。

8. 応募手続き等

- (1) 選考案内は独立行政法人国立文化財機構ウェブサイト『採用情報』欄からダウンロードできます。(独立行政法人国立文化財機構 WEB アドレス：<https://www.nich.go.jp/infomation/saiyo/>)
- (2) 応募締切 **令和7年3月12日(水) 17時00分までに**下記いずれかにより提出してください。

(メールで応募)

上記6. 提出書類のPDFファイルを「saiyo [at] nich. go. jp」まで送付してください。

([at] は@に置き換えてください。)

※1～2日以内に当方から受信確認メールが届かない場合は下記の問い合わせ先までご連絡ください。

※件名を「技術職員(写真技師)応募書類」として送付してください。

(郵送で応募)

応募書類は、封筒に「**技術職員(写真技師)応募書類在中**」と朱書きし、配達確認のできる方法で郵送により提出してください(持参不可)。

(3) 提出・問い合わせ先

独立行政法人国立文化財機構本部事務局総務企画課人事担当

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

電話 03-3822-2438

9. 募集者名称：独立行政法人国立文化財機構

令和 年 月 日 作成

アイルを枠内に貼付)

※「性別」欄：記載は任意です。未記載とすることも可能です。

[illegible]

履 歴 書 記 入 要 項

- (1) すべての欄に、正しく記入すること。記入事項がない場合にも、該当欄内に「なし」と記入すること。
記入不足がある場合には、申込みを受け付けないことがあります。また、虚偽の記載がある場合には、採用される資格を失うことがあります。
- (2) 様式に直接入力して作成すること。
印刷した様式に記載する場合は、黒のインク又は黒ボールペンで記入すること。
- (3) 年は和暦（元号）で、数字は算用数字、ふりがなはひらがなで記入すること。
- (4) 印刷した様式に写真貼付する場合は、写真の裏面には氏名を記入して、貼付すること。
- (5) 職歴欄にはすべての職歴（自営業を含む。短期のアルバイトは除く。）を履歴順に記入し、非常勤の職の場合は週あたりの勤務時間数を明記すること。
賞罰、資格・学位は主なものを選んで枠の数以内で記入すること。また、取得見込の資格等も併せて記入すること。
- (6) 語学欄は下表を参考にして、本人の語学力に最も近いと思われる番号を○で囲むこと。
- (7) 他の外国語欄も下表に準じて記入すること。

1	高校までの授業や大学で履修したことはあるが、以後ほとんど使用していない。又は一切忘れてしまっている。
2	身近な言葉をゆっくり話してもらうと最低限理解できる。 外国への出張や旅行、又は、外国人の来訪の際など、必要に迫られれば、自分の身の周りの会話は努力して使っている。一応、ある程度定期的に自分で学習する努力をしている。（入門・初級） （英語の場合、目安として、TOEIC 370点程度若しくは英検3級程度）
3	日常生活に必要な言葉であれば、要点を理解し応答に支障はない。仕事上で、手紙や短い文章を読んで理解することはできる。（中級） （英語の場合、目安として、TOEIC 520点以上若しくは英検2級程度）
4	仕事である程度のコミュニケーションが取れる。仕事上の必要があれば資料を使って概要を説明できる。一応の電話等の対応ができる。（中上級） （英語の場合、目安として、TOEIC 730点以上若しくは英検準1級程度）
5	仕事で十分なコミュニケーションが取れる。外国語での書簡を読んで、返事の下書きを書いたり、外国語による会議に出席して、その概要をまとめたりできる。（上級） （英語の場合、目安として、TOEIC 820点以上若しくは英検1級程度）

例 英語（1 2 3 ④ 5） 他の外国語 独語（1 2 3 ④ 5）

- (8) 英語検定、中国語検定、TOEFL、TOEIC等の語学検定を受験している場合には、資格取得の年月、試験の点数等を資格・学位欄に記入すること。

例 英検準1級（H30） TOEFL iBT 100点（H29）

- (9) ボランティア経験等はその他欄に記入すること。
- (10) メールにより連絡・通知等をする場合も考えられるため、添付ファイルを受信できるアドレスを記入すること。
- (11) 法人内施設の所在地等については下表のとおり。

本部	東京都台東区上野公園 13-9	https://www.nich.go.jp/
東京国立博物館	東京都台東区上野公園 13-9	https://www.tnm.jp/
京都国立博物館	京都市東山区茶屋町 527	https://www.kyohaku.go.jp/
奈良国立博物館	奈良市登大路町 50 番地	https://www.narahaku.go.jp/
九州国立博物館	福岡県太宰府市石坂 4-7-2	https://www.kyuhaku.jp/
皇居三の丸尚蔵館	東京都千代田区千代田 1-8	https://shozokan.nich.go.jp/
東京文化財研究所	東京都台東区上野公園 13-43	https://www.tobunken.go.jp/
奈良文化財研究所	奈良市二条町 2-9-1	https://www.nabunken.go.jp/
アジア太平洋無形文化遺産研究センター	大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町 2 丁 堺市博物館内	https://www.irci.jp/jp/